

グローバル特集号の発刊にあたって

代表取締役副社長 副社長執行役員 昼 間 祐 治

IHI 技報「グローバル特集号」発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

2009年11月に発表した「グループ経営方針2010」では、IHIグループにとってのグローバル化を「世界の個別ローカル市場のニーズを徹底的に把握するとともに、社内外の経営資源を世界的視野で最適配置し、効率的に製品・サービスを提供できるネットワークを構築すること」と定義しています。

IHIグループのグローバル化は未だ緒に就いたばかりであります。世界のお客さま・パートナーの皆様とのネットワーク、産官学のネットワーク、IHIグループ間のネットワークを紡ぎ、グループ内外の技術・製品・サービスを統合・融合することによって、お客さまにとっての価値を創造していきたいという想いを強く持っております。米州、中国、アジアなどにおけるIHIグループの地域統括拠点の設立は、こうした地域ネットワークを強固なものとし、ライフサイクルで地域に根付いた価値を生み出すことを目的としています。

新興国における産業構造の高度化、エネルギーを取り巻く世界的な環境の変化など不可逆的な変化に対しIHIグループが柔軟・敏感に適応しながら、お客さまの価値創造を行うためには、新しい技術開発やR&Dのパートナーが重要です。本特集号でもご紹介いたします通り、IHIグループでは海外営業拠点での技術アタッチェの常駐を進めているほか、地場の大学や企業などとの共同研究、お客さま・各国のパートナーとのアライアンスによる新事業の創出に力を入れております。

この度発刊致しました「グローバル特集号」では、地域統括拠点によるビジネスや展望、注目している技術開発分野などについてご紹介しております。世界各地のお客さまの声を汲み上げ、それを反映した製品開発の取り組みなどの事例についてもご紹介させて頂いておりますが、こうした地域に根差した取り組みを積極的に進めて参ります。

グローバル人材の育成はIHIのみならず日本企業にとって喫緊の課題であり、ものづくりや技術開発の分野においても人材のグローバル化を加速しなければなりません。日本のみから発想する視点を転換し、地域から複眼的にビジネスやものづくりを考えられることが肝要で、これがIHIグループの考えるグローバル化の目指すところでもあります。

体制の構築、人材の育成とお客さまとのネットワークを通じ、IHIグループは総合力を発揮してグローバル企業グループへの変革を加速して参りますが、その展開について引き続き、皆様のご理解・ご支援をいただければ幸甚に存じます。

